

市政を問う 一般質問 要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。

QRコードについて

お手持ちのスマートフォンなどからQRコードを読み取ると、各議員の一般質問・緊急質問の録画映像をご覧いただけます。

- * 市議会ホームページの「小平市議会 議会中継」のページに遷移します。
- * 映像の配信期間は、次の定例会初日の前日までとなります。配信期間終了後は、閲覧できませんのでご注意ください。

(QRコードは、株式会社デンソーウェブの登録商標です。)



南東部地域等の課題の改善を
ニーズに応えたデジタル活用を
推進し、市民サービスの充実を
がさらなる対策を検討していく。



南東部地域等の諸課題を改善して、より住みやすいまち小平に

質問 ①小桜橋南側から小平小桜橋交差点間の堀野中通り側の緑道は、通学等の安全確保のため舗装改良工事をすべきでは。②平安通りとたかの街道の交差点を車両通行する際、視認性が低いなどで危険との声があるが、交通安全対策が必要では。

市長 ①史跡指定等の範囲であるため、工事の際は関係機関等と協議が必要であり課題が多い。今後も現地の状況を注視し、歩行者等の安全確保に努めていく。

②市でカーブミラーを設置するなど安全性向上を図ってきた

ニーズに応えたデジタル活用を推進し、市民サービスの充実を

質問 ①国が取り組む高齢者スマートフォン講習会を、市独自でより推進し取り組むべきでは。②子育てなど市独自の地域課題の対応に生かす地方版マイナポイント事業を導入すべきでは。

教育長 ①公民館主催でスマートフォンを含むデジタル端末操作等の講座を実施しており今後も継続した実施を検討していく。

市長 ②令和3年度、国の委託事業による自治体の取組は承知している。市として実施の予定はないが動向を注視していく。



機能不全の東京都にくみせず、
市民の福祉向上を全ての原点に
安洋平議員
(一人会派の会)



小平市もゼロカーボンシティを

質問 ①庁用車をZEV^{※2}に切替えていく具体的計画が必要では。②全国に広がっているゼロカーボンシティ宣言を小平市もすべきと考えるが見解は。

市長 ①第三次環境基本計画等に、庁用車買換え時に電気自動車等の導入を進めることを掲げている。走行時に二酸化炭素を排出しない電気自動車等は地球温暖化対策に資するほか、災害時に非常用電源として活用できるため、買換え時期を捉え電気自動車等の導入を検討する。

②今後、二酸化炭素排出量の

削減目標とともに環境審議会での意見等を参考に研究していく。

市民がほっとする憩いのある街

質問 ①市が管理する公道や駅前広場など、公園を除く場所に設置されているベンチの台数は。②西武多摩湖線沿いに鉄道事業者の協力を得て桜を植樹し、桜並木とすることを提案するが市の見解は。

市長 ①10月31日現在、市が管理するものは、スツルを含め14か所、54基である。

②電車運行に支障のない植栽場所確保や維持管理費等の課題もあるため状況に応じ研究する。



東大和市の戦災遺構、旧日立航空機株式会社変電所



選挙管理委員会の役割/
小・中学校の平和学習を深めるべき
佐藤 徹議員
(市議会公明党)



小平市選挙管理委員会の果たすべき役割について

質問 ①選挙実施に当たり、応援職員への教育の体制と内容は。②現在の期日前投票3会場に市民文化会館や市民総合体育館を加えることや、日程の拡充を求める市民の声があるが見解は。

選挙管理委員会事務局長 ①投票所応援職員には、選挙管理委員会事務局職員が説明会を10回程度行い公平・公正な執行ができるよう努めるなどしている。

②令和元年7月参議院議員選挙から投票日前日に期日前投票所の1か所増等を行った。さらなる追加等は考えていないが今後

東大和市の戦災遺構の見学等を通して平和学習を深めるべきだ

質問 ①市立小・中学校の平和学習に、東大和市の戦災遺構、旧日立航空機株式会社変電所の見学を盛り込むことへの見解は。②戦争の語り部を学校に招き行う平和学習授業は学びの場のほか伝承の場にもなるが見解は。

教育長 ①戦災遺構の見学は戦争の悲劇等を体験的に学べる機会と認識している。学校が校外学習等の際に検討できるよう機会を捉え当施設を紹介していく。

②語り部から聞く戦争体験は貴重な学習機会と認識している。

小平市の農産物の魅力アップと食育、都市農業の推進について

質問 ①学校給食における地場産農産物の利用の成果と現状は。②ゲノム編集食品を給食に使用するべきではないが、見解は。③ネオニコチノイド^{※4}など農薬等の市内農地での使用状況は。

教育長 ①食育の推進に役立つ。令和元年度及び2年度は使用割合30%を達成した。

②納入業者に商品規格書への明示を求めている。国の基準の下で生産が認められており価格や品質等を勘案し判断していく。

市長 ③JA東京むさしからは、都の指針に基づき使用基準を遵

市民の生活を支えるための

質問 ①コミュニティソーシャルワーカーの5人配置の背景は。②生活困窮者の自立のために様々な連携が必要だが現状は。

市長 ①ひきこもりなど既存制度のはざまにある課題等への包括的支援体制が必要で、課題を抱える人の支援が目的である。

②こだいら生活相談支援センターの支援員がハローワークと連携し職業相談等の支援をするほか、本年度から就労準備支援事業を開始した。日常生活の自立等の支援などを行っている。



農産物の魅力アップと食育等/
こだいら生活相談支援センター
さとう悦子議員
(生活者ネットワーク)



市長のネオニコチノイドフリー
宣言について問う
伊藤 央議員
(一人会派の会)

